

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	公民:倫理(選択)	単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりするとともに、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。		
使用教材	教科書「清水書院 新倫理」		
評価の観点・評価基準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を調べまとめることができる。	自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索するとともに、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論等を活用して、理論的に思考し、説明したり対話したりすることができる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとするとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。
評価方法	評価の観点・評価基準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、課題の提出状況、レポートやワークシートの内容、プレゼン発表内容等を含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	・「現代を生きる自己の課題」について、人間とは何かや個性的な主体としての自己、心と行動をめぐる探究等を学習する。 ・「人間としての自覚」について、ギリシア思想やキリスト教・イスラム教、仏教・儒教、芸術と倫理等について学習する。	・様々な人間観の理解を通して人間の多様な在り方を理解するとともに、人間存在への問いから現代の諸課題を探究する能力を身に付ける。 ・心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を手がかりに、青年期の課題を踏まえ豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての理解を深める。 ・世界宗教の知見を手がかりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての理解を深める。	
2	・「現代をかたちづくる倫理」に関して、近代の成立や世界と人間をめぐる探究等について学習する。 ・「国際社会に生きる日本人としての自覚」に関して、日本の風土と精神文化や日本の近代化と人々の生き方等について学習する。	・民主社会と人間の在り方や人間の尊厳、自己実現と幸福を論じた近代の諸思想を通して、正義、義務等に着目して、自己の価値観を確立するとともに他者の価値観を尊重することの在り方生き方について理解する。 ・世界を捉える知の在り方を論じた現象学や経験論、合理論を通して、真理、存在に着目し、世界と人間の在り方について自己の課題と結び付けて考察する能力を身に付ける。	
3	「現代における諸課題の探究」に関して、自然や科学技術をめぐる諸課題や社会や文化にかかわる諸課題について学習する。	・日本人の心情と風土との関わり、また日本的な美意識や自然との関わりに着目して、日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、日本人としての自己意識と結び付けて理解する。 ・仏教や儒教を、日本独自の受容やその思想の形成と発展を通して、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしたかを理解する。	
学習上の留意点	教科書にもとづいて授業を進めていく。授業内で取り上げた思想家等で気になるものがあれば、図書館等で調べることをとおして学習した内容を各自で深めてほしい。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	公民:政治・経済(選択)		単位数 2 単位	履修年次 2 年次
目標	広い視野に立ち、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係等について客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考え、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。			
使用教材	教科書「実教出版 詳述 政治・経済」 テキスト「大学受験Nシリーズ『蔭山の共通テスト政治・経済』」			
評価の観点・評価基準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論等について理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論等を活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性や効果、実現可能性等を指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付けている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄をはかることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚等を深めている。	
評価方法	評価の観点・評価基準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題の提出状況、レポートやワークシートの内容、プレゼン発表内容等を含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	「現代日本の政治」に関して、民主政治の基本原則や日本国憲法の基本的性格、日本の政治機構、現代日本の政治等について学習する。		現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。よりよい社会の実現のために、政治や法の意義・役割について多面的・多角的に考察し、理解を深める。	
2	「現代日本の経済」に関して、経済社会の変容や現代経済のしくみ、現代経済と福祉の向上等について学習する。		経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税等の意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深める。	
3	「現代日本における諸課題」に関して、グローバル化する国際社会の諸課題をテーマに探究活動を行う。		少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、防災と安全・安心な社会の実現等について、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する能力を身に付ける。	
学習上の留意点	教科書に沿って授業を進めていく。普段よりニュース番組や新聞等に目を通して、現在起きている社会の出来事について興味関心をもつ。また、定期的に小テストを行う。十分な復習をした上で小テストに臨むこと。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	公民:社会事情(全員履修)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	現代社会の諸課題について、政治・経済・歴史・文化等の様々な観点から探究し、時事的な問題を切り口に、現代社会に対する興味・関心を高める。また、現代社会について多角的な視点から考察するとともに、現代社会と自己との関わりに注目し、いかに生きるかを主体的に考える。			
使用教材	副教材「帝国書院 高等学校 公共ノート」			
評価の観点・評価基準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	現代社会の諸課題に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。	時事的な情報から現代社会に関わる課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の動向に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、客観的に考えようとする態度を持ち、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現に向けて主体的に参加、協力しようとしている。	
評価方法	評価の観点・評価基準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題の提出状況、レポートやワークシートの内容、プレゼン発表内容等を含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	社会の基本原則について確認しつつ、人間らしく生きる権利が保障されている社会とはどのようなものであるのかについて考える。また、新聞記事を読むことを通して、時事的なニュースにも触れ、現代社会の諸課題について考える。		人間らしく生きる権利が保障されている社会をつくるため、自分に何ができるのかを考察し、課題を解決する能力を高める。また、新聞記事等の時事的なニュースに触れることで、世の中で起きている出来事を自分事として捉えられる能力を身につける。	
2	法の役割や民主政治の基本原則を理解し、日本の政治課題や現代の国際政治と日本との関わり等について考える。		私たちの生活は、法律によって守られていることを確認し、成人年齢引き下げ後に発生している消費者問題についての理解を深める。また、政治について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解する。	
3	資本主義経済、市場経済等の経済の基本原則を理解し、現代日本の経済の諸課題について考える。		経済に関する基本的な理解を踏まえ、労働者の権利等の就職後の自身に係わる事柄について知識を持つことで、直面する諸課題への望ましい解決の在り方について考察を深める態度を身に付ける。	
学習上の留意点	普段よりニュースや新聞等に目を通して、現在起きている社会の出来事について注目することが重要である。			